第２４回市民自治推進委員会　育み部会会議録

（敬称略）

◆ 開催日時：平成３０年３月２６日（月）　１８：３０～

◆ 開催場所：若草小学校

◆ 出席部会員：部会長　　安宅　錦也

副部会長　川村　正勝

 　　　　　　　部会員　　仲川　弘誓

　　　　　　　　　　　　 合田　美津子

　　　　　　　　　　　　 磯田　大治

　　　　　　　　　　　　 佐藤　文子

　　　　　　　　　　　　 橋場　太 （協働推進庁内委員会部会長）

【教育部次長】

安部　直也（協働推進庁内委員会副部会長）

【教育部社会教育Ｇ総括主幹】

◆ その他：室蘭工業大学　准教授　真境名　達哉

　　　　　　　 若草町内会　会長　伊藤　秀男

　　　　　　　 若草第二町内会　会長　南　行雄

　　　　　　　 登別市立若草小学校ＰＴＡ　副会長　菊地　道大

登別市立若草小学校ＰＴＡ　副会長　加藤　利江

登別市スポーツ少年団本部　本部長　宮武　祥子

登別グリーン・ピア商店会　事務局長　中村　文彦

◆ 事務局：　　　　　笠井　康之【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

野畑　衣里子【市民生活部市民協働グループ主任】

◆ 議題：のびのび公園の利活用等について

**≪事務局≫**

　本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

　ただ今から第２４回育み部会を開催いたします。

　お集まりいただいた皆様には、２カ月前の１月２４日に若草つどいセンターで開催した部会にもご参加いただきましてありがとうございました。

　そのときいただいた意見を踏まえ、その後２回部会を開催し、本日お手元に配付しております「登別市市民自治推進委員会育み部会からの提案」にまとめました。

　本日はこの案を基に、追加や修正等ありましたらご意見を賜りたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

　本日お集まりの皆様をご紹介させていただきます。

（参加者の紹介）

**≪部会長≫**

　改めて皆さんこんばんは。前回の部会に引き続き出席いただきまして誠にありがとうございます。

　今事務局からお話にあったように、１月の会議を受けて育み部会の中で方向性について２回に渡って協議して参りました。

　それをまとめたものが今皆さんにお配りした資料になります。

　１番と２番については、前回既にお話ししました部分になります。

　３番目が１月の会議でのご意見等をまとめさせていただいた部分で、それぞれ町内会や少年団、グリーン・ピア商店会、そしてＰＴＡのご意見等をまとめておりますので、もし訂正等ありましたらお知らせください。

　このご意見を受けて４番目、今日協議いただきたいのは、今後ののびのび公園の利活用に関わる提案という部分になりますので、読み上げます。

　４番、のびのび公園の利活用に関わる提案について、以上のような地域関係者からの意見等をもとに、部会において再度協議し、登別市に対して次のことを提案いたします。

１つめは、これからの登別市を考えるとき、市民の身体的及び心の健康を増進することができないと「まちづくり」は進めていけない。「健康」というのは、身体的な健康だけではなく、精神的な健康も含めて「健康」と捉え、高齢化や少子化の問題、経済の問題もそこの部分が基本になる。

そこで、モデルケースとして、市内的には好立地にも関わらず、利用が少ないということで「のびのび公園」をモデルケースにして「若草中央公園」と一体的に捉えながら、一般市民や子ども達の「健康増進」をねらいとして、「のびのび公園」に簡易フェンス等を設置して「ボール運動や健康づくりの運動等ができる多目的な公園」として整備し直してはどうでしょうかという提案です。

　２つ目は、公園の整備を進める上で、地域の方々にもプレーヤーとして関わってもらい、様々な観点から意見等をいただきながら、より使いやすく利用しやすい公園として整備していくことが考えられる。そして、将来的には、地域の方々が、自ら公園の利活用について自分たちの意見を取りまとめていただいて、市と共に検討できるような「システムづくり」に繋げていくのは、どうでしょうかという提案です。

　３つ目は、市では、毎年多額の予算をかけて順番に公園の整備をしているということがわかりました。内容的には整備費の半分は国の補助金、もう半分は市の税金で、２分の１の補助金が国から出ているのは、基本的に遊具施設限定なので、他のことには使えない決まりになっている。しかしながら、地域からの要望等が強ければ、転用の可能性もあるということでした。

　したがって、国の補助金が、基本的には遊具施設にしか使えないという現状に合っていない税金の使い道をもう少し範囲を広くして、有効に使えるような形に変えていくような働きかけを市に対して、改めて働きかけていくのはどうでしょうかという提案です。

　４つ目は、このアンケートの結果から、利用率の割には維持管理経費がかかりすぎる公園があるということがわかりました。この提案を「地域と公園のあり方」を見直すきっかけとしていってはどうでしょうか。

この４つを市に提案していきたいということが育み部会の主旨です。

地域の方々のご意見をさらに付け加えながら、それらをとりまとめて「提案」という形で示していければなと思いますので、今日はざっくばらんに色々な視点からご意見をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

**≪ＰＴＡ≫**

　（３）の遊具施設ですが、どんな遊具施設は良くて、どんな遊具施設はダメなのですか。

**≪庁内委員≫**

　具体的な部分はわからないです。

**≪部会長≫**

　これまでの資料を見ていただくと、例えば最後のページ、平成２５年度の公園整備一覧とありますが、ブランコや公園に設置されている遊具の改修等にしか使えないということになっているようです。

　ですから、今行おうとしている新たな違う施設を造るというのは予算の使い道が違うので、そこは難しいということです。

　もしそうなるのであれば、使い道をもう少し広くしてもらい、整備等にも使えるようになればということです。

**≪ＰＴＡ≫**

　使う目的を転用する可能性があるというのは、どのくらいの可能性があるのですか。

**≪部会長≫**

　地域から要望が強く出てくれば市としても検討の余地があるということでした。

**≪ＰＴＡ≫**

　この４つの提案をみると並列な感じがしないです。

　例えば（１）の提案を実現するためには、当然ある程度の予算が必要になります。（３）の話をある程度具体化しないと（１）には繋げられないというふうな位置づけに見えます。

　４つをまとめて出しても、結局（３）で遊具限定しか使えない、簡易フェンスとしては予算は使えませんとなったときに、順番が違うのではないかなという気がしました。

　例えば（３）を先に提案してから、それが通って、フェンスを造るのに予算を使って良いとなった場合に（１）の形を持っていきたいのだけれども、その時には地域住民の意向が確認とれているのか。結局そこで反対が強くて実現できませんでしたとなったら、何のためにその予算を遊具限定から外したのという話になるので、根本から何か崩れてしまうような提案になってしまわない方向で考えた方が良いという気がします。

　予算が使えるか使えないかということは、これから話を進めていく上ですごく大事なのではないかなと思います。

**≪部会長≫**

　予算的な裏付けは無いです。

**≪ＰＴＡ≫**

　（３）で書いてある内容は、前回自分が出席したときには記憶に無かったので、これが実現すれば選択肢が色々と考えられるのかなと思います。

　地域の要望が強いのであれば市が検討するというのなら、早速してもらった方が話は早いのではないかなと思います。

　そのためにこの部会で色々と話し合っているのであれば、まずそこが動き出さないことには何も具体的な話に持っていけないような気がします。

　市に上げるにあたってどこまでが必要なのかは私にはわからないので、せっかくこんなに人が集まっているのですから、具体的な話に持っていかないと時間だけが無駄になると思います。もうそろそろ、本当に実現に向けて動いていった方が良いと思います。

　地域住民の意向を確認した方が良いのではないですかという話を私の方から前回提案しましたが、把握されてないという認識でよろしいですか。

1. の提案と言うのは、地域住民が置き去りにされているような提案になっ

ている気がします。市の方に提案したときに、地域住民の意向はどうなのですかということに対して説明ができないとかなり弱い気がします。

**≪町内会≫**

　今のお話をされたときに、地域の説明が大事だと思います。朝から野球等をやったら騒ぐと思います。のびのび公園の周りには住宅がたくさんあるので、その辺の確認は早くした方が良いのかなと思いました。

**≪ＰＴＡ≫**

　実際に公園の利用を時間で区切って使用している所はあるのですか。

　無いですよね。

**≪真境名准教授≫**

　第三者的に感じたことを話しますと、この部会、部会としての要求というものは無いので、地域住民の方々からの要求を聞きたい。部会に要求があるわけではないのです。

　前にも話していましたが、公園で騒ぐと周りからうるさいと苦情がきてしまう。この公園はもう少し大きく、小学校区とかいうふうに要求を調整して、ＰＴＡや商店会の方からの要求が出てきて、それを町内会に話をして、それでニーズを受けてというふうに上手くいくと良いのかなと思います。

　なるべく整理ができて、市の財産としての公園が上手く使えれば良いということです。

**≪部会長≫**

　前回話をした中では、子ども達はボール遊びができる公園が欲しいということがありました。

　そういう意見を受けて、まずボールが使える公園にしたらどうでしょうという提案の仕方は出来ると思います。

　部会の中で話をしていたのは、ルールを変えてボールが使えるような形にしてあげること。そして状況を見ながら地域の方々の意見や様子を聞き取りながら何が必要なのかということからスタートしても良いのではないかという話をしていました。

　簡易フェンスを設置して、先に形が出来てからやるのが本当は良いのでしょうけれども、まずはルールを変えて遊びながら変えていくということでも良いのかなと思います。お節介かもしれませんが。

**≪真境名准教授≫**

　悪い言い方をするとお節介かもしれませんが、状況を教えていただいて、子どもの声が聞こえる町会って本当に魅力的だと思います。

　部会としては勝手に思っているだけなので、要求をいただければ予算も半分市が出している訳で、遊具とは何かということで国の定義等色々あると思いますが、半分は使えるので、市のルールもあるとは思いますが使えるかもしれないです。ですから、そこら辺のストーリーぐらいまでは話し合うことができますが、実際にタマとしてどこまで打ち出すのかというのは、我々でフットサル場という訳にも行かないですし、お祭りもありますし、そこら辺は決め兼ねるので、案を作って皆様からの意見をいただいて、町会の人、公園の周りの人の様子等も見ながらできると良いなというのが前回の会議までの話です。

　部会の中で行き詰ってタマは何だというところの話までできていないです。

　ボール遊び一つ取っても、町会にしたらうるさくなるかもしれない、ボールが飛んでいくかもしれない。そういうネガティブなことだけれども賑やかになるよとかそういうことは町会長だけでは決められないと思いますけれども、町会も含めて相加的にそんなエリアができれば良いと思います。

**≪部会長≫**

　例えば、町内会で周りの方々にアンケートをとってもらうことはできるのですか。

**≪町内会≫**

　それは可能だと思います。

**≪部会長≫**

　あとは、実際に一番使うのは地域の方々だと思うので、地域の子ども達の声が無いことにはお節介にしかならない。

　それで前回色々と出していただいた子ども達の声を形にしたいということが一つです。

**≪ＰＴＡ≫**

　正確な情報ではありませんが、室蘭の「さくら公園」はボール遊びができるようです。実際に野球をしたという話を聞きました。

　そこの公園はフェンスもあるし使っても良いとのことでした。正しいかどうかはわかりませんが、本当ならば、ボールを使って遊べる公園が実際にあるので、近くに住宅もある場所なので、近所の方々から苦情が出ないのはなぜなのだろうということも思いました。

　隣のまちなので状況的な確認はできるのかなと思いました。

　若草の球場も少数ですが民家もありますが、近所から苦情がきたことは無いと思います。そういうことを考えればのびのび公園も必ずしも無理な話ではないのかなと思います。

　地域を盛り上げていこうということが伝われば大丈夫なのかなという気がします。

　さくら公園の情報は詳しくないのでご存知の方いますか。

**≪部会員≫**

　さくら公園は、川沿いで民家もあります。サッカーをしたり野球もしています。広さ的にも申し分ないですが、下が草原になっています。

　少し段があるので、川側の方が割と運動に適している公園になっています。

**≪ＰＴＡ≫**

　そういう所の良いとこ取りができないですかね。

**≪部会員≫**

　この資料の最後に平成２５年度に掛かったのびのび公園の整備費が載っていますが、１，２００万円程掛かっているので、単純に計算しても６００万円が市の税金で整備しているということになります。でも実際に公園を利用している方は少ない。６００万円を掛けるなら違う形の方が、地域の方々がもっと有効に利用できる方法もあるかもしれないという発想から協議を始めました。

　これはのびのび公園ですが、ただ私達が提案しても結局利用されない公園になってしまうと思います。ですから、町内会や地域の方々にもお話を聞いて、市に提案できるような関係を作ろうということで、私達がその橋渡しになれるようにやりたい、地域の想いが市にきちんと伝わるようなシステムを作りたいということです。そのモデルとしてのびのび公園を選びました。

　市は何かを実施するときに市民の意見を聞いたと言います。でもそれは町内会の意見なので、ＰＴＡ等の意見は聞いていないです。町内会の意見イコール市民の意見という捉えをしています。公園は、町内会の意見はもちろんですが、子どもを持つＰＴＡの方々もみんなで地域の公園の在り方について考えていただければ良いのかなと思います。

　税金の無駄遣いにもならずに、地域の方々のふれあいの場にもなるし、市が求めている協働のまちづくりの一つの考え方になるのかなと思います。

　私達がこうしたいというのではなく、地域の人達のこんなことをしたいということを聞きたいのです。

　色々と周りから反対の声もあるかもしれませんが、そういうことは後から考えることで、まずは、地域の方達にどんな公園になってくれたらいいかという要望をきちんと集約できなければ今と変わらずずっと続いていくことになるので、それはあまり良い事ではないのかなという気がします。

**≪真境名准教授≫**

　そういうプロジェクトのようなものがうまくできて、子どものためのものができれば、町会にとってもすごく良い事だと思います。

　室蘭市役所の方と話をしても、若草町周辺は大変人気がある、室蘭から人が移っていってしまうという大変人気のある所です。

　公園を通して何らかの話し合う機会を作ることができる。それは、まち自体が一つのテーマに向かっていき、それはＰＴＡも含めてこういう機会は価値があるのではないかという話をしています。

　あとは、市役所や政治家もそうですが、こういうまちですとなってきたら、タラレバですが、次の具体的なステップには行きやすいかなと思いますので、そのためには、話す場や知恵を出すと良い効果がでるのではないかと思います。

子どもの声ですが、指導者がいたら絶対に無謀なことはさせないと思うので、時間を決めるということは現実的な話で、フェンスを付けるという物理的な条件というのは、お互いに合意できるのではないかなと思います。

**≪部会員≫**

　私達が思っているイメージとご出席いただいている皆様方のイメージとが上手く重なっていないような気がします。

　今、真境名先生がお話になったように、私達が一応机上の議論を整理したけれども、現実に動いたり、考えたり、ニーズを拾ったりという地域に根ざした想いをまとめることは、できれば地域の方々にお願いしたいと思います。

　そうでないと、私達が直接面識も無ければ声を拾い上げるようなツールも無いし、そこまでではなくて、まちづくりは市民が行うということが理念なので、そうだとすると、できればこれまでは行政に任せていたまちづくりや地域づくりを自分達の地域は自分達の手で考えて、解決していくというふうに一つのきっかけにしてもらえたらなと思います。

　私達は繋ぎとして応援はしますが、主体的に関わって実践していくのは地域の方々にお願いしたいです。

　順番でいくと、この論議は私達の論議で書き上げてしまったので、ＰＴＡの方がおっしゃっていることもわかります。

　ただ、難しいことはないので、最初は小さなことしか出来ないと思いますが、先程委員からもお話にあったように、税金も入っているのに、良い条件の公園が使われていないのがもったいないからそこを何とか、お互い市民同士で地域毎に解決していきたいということだけは間違えないでいただきたいです。

　どういう形で話を作ってくださるかわからないですけれども、きっかけが出来ないかなというのが、私達のコンセプトでありお願いであります。

**≪真境名准教授≫**

　ある程度我々の意向を理解していただいたと思いますので、このままずっと話し合いだけをしていてもしょうがないので、今後のスケジュールのようなものを、早急にやってもアイデア等も出てこないと思いますので、何回か話し合いの場を設けて、みんなでプランを作って市に提案するというのが良いのかなと思います。

**≪部会長≫**

　一応、この前いただいたご意見をまとめましたので、地域の方々がもしこの案で良いということであれば、まずは提案をした形で進んでいくのが良いのかなと思っていました。

　例えば、ボール遊びができるということをルール変更でやってみて、次の段階に進むという方法が良いのかなと思っていました。

　できるのであれば、今回のお話をいただいて次に提案という形で市に提出できれば良いのかなと思っていたのですが、そこまでは進めないということですね。

**≪部会員≫**

　部会としてのまとめはこれで良いと思いますが、これをどう具体化していくかというのは、やはり、地域の方がイニシアティブをとっていくような形にしなければ、私達のできることではないので、そこをご理解いただくと、できれば今日集まっていただいた方を中心に何らかの話し合いの場を設けていただいて、その中からこの提案を形にするような具体的なものが出てきたら、私達は支援するというか繋いで行きます。

**≪真境名准教授≫**

　提案するというのは委員会での話ですが、魂を入れる部分はこれからこういう会をやって、例えばボール遊びをするにもグランドを整備するとか、どんな形で整備しようということは、市だけで考えるのか、ある程度市民力を入れて考えるのかということで、ベースはキャッチボール等でやってみるとかそういうふうにして、同時に実際にやるにしても急にやるという訳にはいかないので、総会等でやるという話をして意見を聞きながら行うと思います。

**≪部会員≫**

（２）のところが実は重要だと思うのですが、下から３行目「自らの公園の利活用について自分たちの意見を取りまとめて、市と共に検討できるような『システムづくり』に繋げていく」というのは、今回私達が公園をテーマに設定したのでこのように書いてありますが、「自らの○○の活用について」というイメージを持っていただきながら、それを自分達が話し合って進めることによって解決できるのだというモデルにしたいです。

　私達は最初に「健康」というテーマで話し合ってきて、この部会は公園になったので、公園ではなくても地域の課題があって、それについて今までは行政頼りだったものを市と地域の人達が一緒に話し合うので解決できるのだというモデルケースにしたいです。イメージが湧きますでしょうか。

　実は前の部会の中で、こういう意見を我々が直接行政に訴えてもほぼ実現はできないですが、その意見を集約してまとめて最初に受けるのが町内会という説明を受けました。

　それが分っていれば、町内会の中で一生懸命みんなが意見出して話し合ったらそれが実現できるとわかっていたら、４０代の人も３０代の人も町内会の活動に対して考え方が変わるのではないかなと思いました。

　それであれば町内会活動も一生懸命関われるのではないかなと思いましたし、今ここに集まっている皆さんも多種多様な団体や組織から来ていただいているので、このように同じ土俵で皆が話し合うというステージが今まで自分の経験上は無かったと思います。

　スポーツでもスポーツの団体が一堂に会して話し合うということはほぼ不可能です。それなら自分達の住んでいる地域の中で話し合うことによって解決に導いていけるのだとなると夢が持てるなと思いました。ここに地元の商店会さんも加わってまちが賑やかになってくれたら良い話だなとそんなふうに思っていました。

**≪部会員≫**

　地域の活性化や意見や年代的に分断している地域から、ある程度コミュニケーションができて、今まで個別に問題を抱えていたものが、若い人達とのコンタクトが取れるようになることによって、そこでうまく悩みが解消されたり、良いアイデアが出てきたり、力になってもらえたりすると、理想論かもしれませんが期待して何かきっかけにならないかなというふうな想いもあります。

　これまでの縦型の動きではなくて、地域が一体となるような組織に移行できると私達のねらいがうまくいくかなと。そうすれば私達もできることはまた携わって一緒にできるかもしれませんし、そういうのがこの登別市の中には無かったので、私もとてもこのような働きかけというか動きが必要だと感じていましたので、きっかけづくりにしかならないかもしれないですけど、うまくいくような気がします。

**≪グリーン・ピア商店会≫**

　商売人なのでお金があまりにも掛かりそうな治水工事とかにはものずごい金額がかかるので、最初から無理なのかなというのは商店会の中で話していました。

　現実問題、全てを一度に行うことは無理ですが、考え方としては、富岸公園のようなある程度のフェンスを囲って、バスケットやフットサルができるような広場を作って、間仕切りは可動式にして、外なので天気にも左右されると思いますが時間貸しにして申込制にする等、色々なことを整理していけば、自分達で責任をもって片づけたりということも責任を持ってやらせるということも大事ですし、先程言われたようなボール遊びを現状のまま使わせて誰が責任を持ってどのようにするかはわからないですが、それを誰がやるのかという問題がありますね。町内会も人がいないし、商店会も人がいない状況です。その辺が難しいですね。ただ、今まで先程言われたように、このような場というのが今までは無かったので、やはり市に対してもネガティブなイメージしかなかったので、良かったのかなと思います。ただ、あまり立派な物が出来てしまうと駐車場として借りられなくなってしまうので困りますね。

**≪部会員≫**

　先ずは最低限のことからして、地域の方々に使い方を考えてもらう。

　初めは親子でキャッチボールをする場所も無いよねというところから話が始まっているので、でものびのび公園ならキャッチボールくらい親子でできるよねという話でした。

　色々調べたら公園でボールを使ってはいけないというものは何も無かったです。もしかしたら苦情がくるかもしれないからダメと書いてあるだけかもしれない。

**≪グリーン・ピア商店会≫**

　若草中央公園に遊具があるので、のびのび公園でボール遊び等をすることには賛成です。

**≪町内会≫**

　前にもお話ししましたが、昨年、町内会内にあるさわやか公園で子ども達がサッカーをしていました。

　私たちが花の苗を育てているビニールハウスがあるのですが、そこをめがけてボールを蹴って遊んでいたのです。

　そうするとビニールなので破けました。学校にも相談に行って、ここでこういうことをやってはいけないと説教したのですが、子ども達はサッカーをやる場所も無くてかわいそうです。

　高齢者のみなさんはゲートボール等自分達の居場所づくりに役立てて遊んでいます。そうすると将来国を担う子ども達にあれダメこれダメとのびのびと遊べる公園もありません。

　今話になっているのびのび公園も、年一回のお祭りのときの駐車場だけ有効に活用されています。

　やはり子どもをのびのびと育てるためには、のびのび公園をもう少しオープンにして、ボールくらい蹴らせてあげたいなというのが私の本音です。

**≪部会員≫**

　さわやか公園にはビニールハウスがあるので、そういう公園は、それに特化した公園にして。子ども達はのびのび公園で遊びなさいというふうに使い分けた方が有効な活用法になりますので、このような要望を受けたら市はどのように動くのか見てみたいです。

　内容をもう少し精査して考えてほしいとういことを北海道に働きかけてもらって、変えられるかどうかはわかりませんが、一つずつ補助金等の制度もこれからは見直してもらわないといけないのかなと思います。

**≪部会長≫**

　今色々といただいた地域の要望という部分をまずメインに持ってきて、そして、そのためにはまず一つはボール遊びができるようなことをやってみてはどうかという提案の中で、やりながら少しずつ整理できるような働きかけをしていくという形が良いのかなということで、先程出していただいた「さくら公園」の例等を調べながら、こういう使い方もできるのではないでしょうかということも踏まえて一度提案という形で市に投げかけた中で、その動きをもう一回受け止めて、具体的に進めるという捉え方で良いですか。

**≪部会員≫**

　地域のニーズが無いと市は動けないので、こういう会の働きかけがあって話し合ってみましたと、そして幾つかの要望が出てきているのだけれども、これを具体化させるために市はどういう形で対応してくれますかという形にしないといけないと思います。

　このように横断的な会議をずっと続けていただいて、スケジュールを立てていただくと、若草の人達皆さん活発なので良いアイデアが出てきそうです。

**≪真境名准教授≫**

　お祭りの時は草が刈られているので、草を刈る必要はないですよね。町内会で苦情が出るかもしれませんが、お祭りの前後でボール遊びができるというふうにすると、実績もできるので、そういう動きを市は無視しないと思うので、それだけでも１カ月か数回でも良いので実践してみて次のステップに進めば良いのかなと思います。

**≪部会長≫**

　今お話しいただいた部分を取りまとめて、今のスケジュールでいくと、お祭りに合わせて草刈りがされたグラウンドをどう使うかということをモデルケースという形で一度見させてもらって、その中で周りの方々のアンケートや遊んでいる子ども達の意見を吸い上げて、もう一度改善を図っていくというような提案にしていき、またこちらに返して色々とその部分の経過を共有するということでまた会議を開くということで、１年間のスケジュールの中でやっていくということでどうでしょうか。

**≪ＰＴＡ≫**

　もう少しスピーディーにやっていかないと、夏祭りはもうすぐきてしまいます。それまでの時間に何も動きが無いと結局何もやらなかったという形になってしまいそうな気がします。

　ですから、夏祭りの前に何回か集まるとかした方が良いと思います。

**≪部会員≫**

　次の会議の時までには、ＰＴＡの方はお子さんにどんな遊びをしたいか等を聞いて項目をあげてもらい、もちろん駐車場にしたいという時もあるので、何ができるかということを考えていくということで、今度は実際に使う方々の意見を聞いて、無理なものと可能性のあるものに分けて最終的に要望みたいにすれば良いのかなと思います。

**≪ＰＴＡ≫**

　実際に、子ども達に何か具体的な案を聞く機会は今まで無かったのですか。

**≪部会員≫**

　このアンケートだけです。

**≪ＰＴＡ≫**

　もっと具体的なものを、子どもに箇条書きでも書かせるということはしないのですか。

**≪部会長≫**

　もし、使えるならこういう使い方をしたいというアンケートの仕方は出来ると思います。

**≪ＰＴＡ≫**

　１年生と６年生とでは子どもの理解力の差はあるのでしょうけれども、今の話し合いの主旨をある程度簡単に伝えたうえで、駐車場で使うということもないがしろに出来ないという状況も伝えながら、子ども達に投げかけてみるということは必要な気がします。

　学校を巻き込んで、全員からは出ないと思いますが、目からうろこ的なアイデアが出てくるかもしれないです。

**≪部会員≫**

　親御さんが聞いてくれるのが一番子ども達の本心が聞けると思います。

**≪部会員≫**

　少年団で意見を吸い上げる方法はできないですか。

**≪スポーツ少年団本部≫**

　少年団が一度に集まる場が無いので、できるとしたらメールで配信して投げかけることは可能だと思います。

**≪真境名准教授≫**

　プログラムが欲しいなと思います。例えば、あそこに子ども達が来て遊ぶようになったら初めて自由遊びができて、その時に次の要求かなというのは個人的に思います。

　やはり子ども達がどう感じているのかという部分については次のステップの話かなという気がします。

**≪ＰＴＡ≫**

　私が思ったのは、もっとこの話を伝えていかないと、モデルケースでも利用したときに初めて聞くような状況だと絶対にルール違反も出やすいし、繋がっていかないと思います。

　アンケートをとりながらしっかりと特定のスポーツ少年団の子達ではなくて、関係ない子、その親にもこのように動いているということを何回も投げかければ、頭の片隅に残るのではないかなと思います。

　アプローチをたくさんかけないと、いきなり解放されても何をして遊んで良いか分からないです。

**≪真境名准教授≫**

　それは実際に利用するときに、もうシステムができましたと、箱が出来たので遊んでくださいと言うよりも、手間は掛かるかもしれませんが可能ならば小学校の皆に問いかけながら、手間をかけるともっと良くなっていくので、プロセスとしてはあった方が良いと思いますが、学校でそういう時間がもてるかということだと思います。

**≪部会長≫**

　のびのび公園であれば、若草小学校の子ども達がメインで遊びますので、若草小学校の協力が得られれば吸い上げることはできるのかなと思います。

**≪ＰＴＡ≫**

　学校からの情報が来るメールの登録率は８０％くらいなのですが、そこから投げかけて、話が広まればすごく動きやすいと思います。

**≪部会長≫**

　部会として一応提案するのは、一つのモデルケースとしてのびのび公園をどう活用していくかという部分を投げかけていくということで、そのためにはスケジュールが必要で、夏祭りの８月までの間に子ども達の要望を吸い上げたうえで、実際に夏祭りが終わった後、整備されたあとの期間を使用期間として取り組んでもらって、その中での課題等を拾い上げたうえで次のステップに進むという段取りが必要ということですね。

　整理をして提案をさせていただいて、具体的なスケジュールは平成３０年度のお祭りを中心にしながら前後のスケジュールを立てて子ども達の要望を吸い上げ、実際に実行してみて、そのあとまた集まっていただいて、その成果・改善事項等を整理したうえでまたもう一度提案するというようなサイクルを作ってやっていけたら少しずつ公園の活用についても図られるのかなということで、来年度また機会をいただいて、お集まりいただければなと思います。